

講演会プログラム

セッション	タイトル	講演者	内容概要	
第1部 10:00～10:50	いま、大人にできること 市販薬による若者の依存症	松本俊彦 先生 〔精神科医〕 国立精神・ 神経医療研究センター	若い世代に広がりつつある市販薬による依存症。どうすれば防げるのか。どうすれば救えるのか。対応のヒントを共有します。	
第2部 11:10～12:00	どう言えば伝わるの？ お医者さんとの会話法	やさしい医療の カタチ 〔所属医師〕	医師が診断するときの考え方を知り、医師への質問の仕方、 症状の伝え方など、実践的コミュニケーション法を探ります。	
昼休憩				
第3部 13:00～13:50	知って得する！ 医療のしくみ	横浜市 行政医師ほか	医療制度・地域連携を踏まえた受診準備と活用法の紹介。 横浜市ならではのさまざまな取り組みもご紹介します。	
第4部 14:10～15:00	知っておきたい！ 子どもの救急医療のこと	坂本昌彦先生 〔小児科医〕 佐久総合病院 佐久医療センター	春に向かって子供たちの活動範囲も少し ずつ広がっていく中、小児救急時の判断 基準と、家庭でできる初期対応を学びます。	お絵描き 教室 14:00頃～15:20頃 現役のマンガ家によるお絵描き教室 (対象:小学生以上)
第5部 15:10～16:00	正しい知識と出会うために 不安なときはここを見よう	やさしい医療の カタチ 〔所属医師〕	いざというとき役に立つのは、ふだんからの 知識。医療情報の信頼性の見分け方、ネット 情報との付き合い方を。	


申込受付

11月18日(火)～2026年1月6日(火) 各講座 先着200名

※当日空きがあれば参加可
※右の二次元コードまたは裏面のFAX送信票からお申込みください。
※託児スペース利用希望の場合はお申し込み時にご記入ください。
※障害等への配慮が必要な方は、12月10日(水)までにお申込みください。

お問い合わせ

医療局医療安全課 TEL:045-671-3654 E-mail:ir-iryoanzen@city.yokohama.lg.jp



FAX送信票 横浜市医療局医療安全課 045-663-7327 宛

◎講演会参加申込書(枠線内を全てご記入の上、お申し込みください)

氏名	居住地	在勤・在学地 ※市外在住者のみ
フリガナ	横浜市 区	横浜市 区
	市外在住者(市)	
性別(あてはまるものに○をつけてください)	職業(あてはまるものに○をつけてください)	年代(あてはまるものに○をつけてください)
男性 女性 その他	会社員 公務員(団体職員) 自営業(個人事業主) パート(アルバイト) 主婦(主夫) 学生 無職 その他()	～10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代～
参加をご希望されるセッションに○をつけてください。(複数可)		託児スペースをご利用の方
第1部 第2部 第3部 第4部 第5部 お絵描き教室		()歳 ()人 ()時ごろ～()時ごろ

●託児スペースは、10時～16時の間のご希望の時間帯をご記入ください。また、対象年齢は0歳児から小学校3年生までとなります。

講演会の参加にあたり、託児サービスや障害等への配慮(手話通訳等)が必要な方へ

●横浜市電子申請・届出システムでお申込みの方／お申し込みフォームに備考欄がございますので、必要な配慮事項とご連絡先をご記入の上、お申し込みください。

●FAXでお申し込みの方／必要な配慮事項とご連絡先(メールアドレス等)をこのFAX送信票にご記入いただき、送信をお願いいたします。または、ir-iryoanzen@city.yokohama.lg.jpまでご連絡ください。

具体的に必要な配慮事項についてご記入ください
(例:手話通訳、要約筆記等)

ご連絡先をご記入ください(例:E-mailアドレス、FAX番号等)
※詳細確認のためご連絡させていただくことがあります